

12 文法説明

1. 希望、願望を表す表現

(1) 動詞 چاہنا (cāhnā) を使う。

چاہنا (cāhnā) は、いわゆる複合動詞で、必ずほかの動詞を伴って用いられます。意味を示す動詞は、不定詞形となりいっさい変化はしません。人称や性、数による変化は複合動詞の部分が受け持ちます。以下の例文を見てみましょう。

ہم پاکستان جانا چاہتے ہیں۔

ham pākistān jānā cāhte haiñ.
私たちは、パキスタンへ行きたいです。

میں یہ کام کرنا چاہتا ہوں۔

maiñ ye kām karnā cāhtā hūñ.
私は、この仕事をしたいんです。

کیا آپ یہ کپڑے خریدنا چاہتی ہیں؟

kyā āp ye kapṛe xarīdnā cāhtī haiñ?
あなたは、この服を買いたいのですか？

2. 義務、強制、話し手の意志を表す表現

کرنا چاہیے karnā cāhiye の形

ウルドゥー語に頻繁にみられる表現で、意味上の主語は後置詞 کو (ko) をともなって後置格形となります。この表現はさまざまな意味を持っていますが、動詞をとともなう場合には、義務や強制を示します。動詞が他動詞の場合、直接目的語の性、数に応じて変化します。

مجھے کیا کرنا چاہیے؟

muj^he kyā karnā cāhiye
私は何をすべきですか？

اس کو ہفتے میں ایک بار ہسپتال جانا چاہیے۔

us ko hafte meñ ek bār haspatāl jānā cāhiye
彼女は、週に一度病院に行くべきだ。

ہم کو اردو کی کتابیں لینے چاہئیں۔

ham ko urdū kī kitābeṅ lenī cāhiyeṅ
我々は、ウルドゥー語の本を買うべきだ。

آپ کو دو کمرے لینے چاہئیں۔

āp ko do kamre lene cāhiyeṅ

あなたは、二部屋借りるべきだ。

کرنا ہے (karnā hai) の形

この表現も、上記の **کرنا چاہیے** (karnā cāhiye) と同様に、義務や強制を示す表現です。意味上の主語が後置詞 **کو** (ko) をともなって後置格形となるのも同じです。**کرنا چاہیے** (karnā cāhiye) よりも強制力が高くなります。

مجھے کراچی اسٹیشن جانا ہے۔

mujh^he karācī isTeṣan jānā hai

カラーチー駅へ行きたいのですが。

کل آپ کو یہاں آنا ہے۔

kal āp ko yahāṅ ānā hai

明日、あなたはここへ来なければなりません。

کرنا پڑتا ہے (karnā paṛtā hai) の形

非常に強制力が強い表現で、「どんなことがあっても必ずしなければならない」というニュアンスが表れる表現です。

کل دن کے چار بجے تک آپ لوگوں کو لاہور آنا پڑتا ہے۔

kal din ke cār baje tak āp logon ko lāhaur ānā paṛtā hai

明日昼の4時まで、あなた方はラーホールに来なければなりません。

ہمیں شام کے چھ بجے تک یہ کام مکمل کرنا پڑے گا۔

hameṅ šām ke c^he baje tak kām mukammal karnā paṛe gā

我々は、夕方6時までこの仕事を仕上げなければなりません。

3. 依頼の表現

相手を **آپ** (āp) で呼ぶときに用いられる命令形の後ろに **گا** (gā) を付加することにより作られます。この語尾 **گا** (gā) は変化しません。

آپ کل دوبارہ آئیے گا۔

āp kal dobārah āiye gā

明日、もう一度来てくれませんか。

ذرا یہ کھا کر دیکھیے گا۔

zarā ye k^hā kar dek^hiye gā

ちよつとこれを食べてみてくださいませんか。